

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元
佐野市教育センター
佐野市上羽田町 1134 番地 1
電話 20-3108
20-3048(相談専用)

田沼小学校とあそ野学園義務教育学校では、令和 4～5 年度の 2 年間、佐野市教育委員会から学校 DX 研究推進校の指定受け、2 校が連携して研究を進めています。ICT を活用した校務の情報化や深い学びを実現するための学習指導の工夫・改善などに積極的に取り組み、確実に成果を上げています。そこで、今回の GIGA 通信では、田沼小学校 6 年生の音楽における 1 人 1 台端末を活用した授業を紹介いたします。

『1 人 1 台端末を活用して楽しく音楽づくり ～6 年生音楽での実践事例～』 (田沼小)

常に感染対策をしながら学習活動を行わざるを得なかったコロナ禍の 3 年間は、音楽の学習に大きな影響を与えました。田沼小においても、6 年生の児童は中学年から高学年にかけて人前で歌を歌う機会が少なく、歌唱の技能や歌唱を通して音楽表現を楽しんだり工夫したりする経験が十分にできていません。そんな子供たちが仲間とともに楽しく歌唱による音楽づくりをできることをねらいとして、担任の先生は、題材名「いろいろな音色を感じ取ろう(ラバースコンチェルト)」において「サンプリング」という音楽制作の手法を取り入れ、以下の表のような流れで授業を展開しました。

時	主な学習活動
1	・曲想と楽器の音色や響き、旋律の特徴などとの関わりについて理解し、各パートにふさわしい楽器で「ラバースコンチェルト」を演奏する。
2	・各パートの役割について考え全体のバランスを工夫して演奏する。
3	・グループごとにリズム伴奏を工夫して作り、お互いの響きの違いを楽しんで聴き合う。
4	・「スクラッチ」で録音した自分の声を適切に再生させるプログラムを考える。(プログラミング学習)
5	・「サンプラー」で様々な声を組み合わせながら、自分たちの「ラバースコンチェルト」のボイスアンサンブルをつくる。

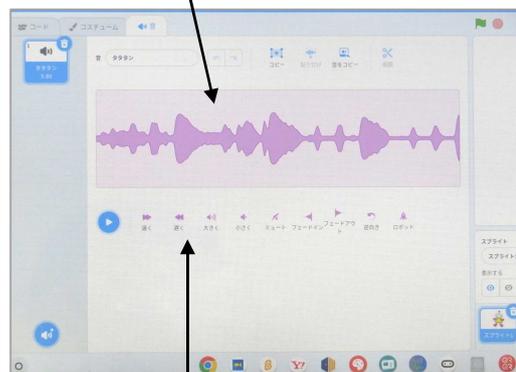
6 「サンプラー」による演奏を参考に、全体のまとまりを考えながら、実際にボイスアンサンブルを演奏する。

◇「サンプラー」によるボイスアンサンブルづくり
本題材では、前半にいろいろな楽器で「ラバースコンチェルト」を演奏したあと、後半は自分たちの声を合わせて同曲のボイスアンサンブル(音程がない言葉のリズム合唱)をつくり演奏します。音楽への関心・意欲は高いものの、声を響かせながら歌う技能が十分に身に付いていないという児童の実態を鑑み、先生は、生の声でボイスアンサンブルを演奏する前段階として、1 人 1 台端末を活用して擬似的にボイスアンサンブルをつくる活動を取り入れました。自分の声を録音し、それを再生させる装置「サンプラー」は、「スクラッチ」でつくりました。「スクラッチ」は既に他教科のプログラミング学習で学習しているため、児童は容易に操作することができたそうです。



曲に合わせてタイミングよくボタンを押して、録音した声を再生させます。

「タタタン タタタン」と録音した声はこのように表示されます。



声の大きさや速さなどはここで調節できます。

第 5 時の授業では、声の大きさや高さなどを個人で工夫したりグループで話し合ったりしながら「サンプラー」でボイスアンサンブルをつくり、演奏しました。活動を進める中で、児童が声やリズムの重なりやつながりの良さ・面白さを感じ、「自分たちも生の声でボイスアンサンブルを演奏したい。」という思いを高めている様子が伝わってきました。

参観させていただいた第 5 時の授業の様子を写真でご紹介します。

授業のはじめに、前時までの学習の振り返りとして「ラバースコンチェルト」をリコーダーで演奏しました。



本時のめあてを確認したあと、「ラバースコンチェルト」のリズム伴奏の基本のリズムをカードや手ばたきで確認しました。



基本のリズム伴奏を参考に、グループごとにアイデアを出し合いながらリズム伴奏のワークシートをつくり、自分の声を録音しました。



作成したリズム伴奏のワークシートをもとに、録音した声の大きさや高さなどを工夫し、グループでボイスアンサンブルをつくりました。



完成したボイスアンサンブルを発表。
代表のグループがつくったボイスアンサンブルに合わせて、みんなで「ラバースコンチェルト」をリコーダーで演奏しました。



先生は、昨年度に田沼小で取り組んだプログラミング教育の成果を生かしたいと考え、今回の

授業にチャレンジしたそうです。先生は今回の授業を振り返り、「授業の最後に発表した 3 グループは、どちらかというと音楽が得意ではない児童が多いのですが、自分たちから発表を申し出てくれました。『サンプラー』によるボイスアンサンブルづくりを通して音楽づくりに関心を持ち、苦手なことを乗り越えて自ら表現しようとしている児童の姿を見てとても嬉しい気持ちになりました。」と話されていました。本時の学習でボイスアンサンブルのイメージができたことで、第 6 時では声の大きさなど個人差はあるものの、それぞれの児童が自分の声で行うボイスアンサンブルの演奏を楽しんでいたそうです。